



## 新規現場のご紹介

### M株式会社

2017年9月1日より、姫路市にあるM株式会社の日常清掃業務がスタート致しました。

Sグループの関連会社で検体検査機器のユニット組立を行っている会社様です。

現場は四方を山に囲まれ、のどかな風景が広がっております。

また、他現場と比較すると女性従業員の方が非常に多い現場でもあります。

ピアサービスとして、お客様へ快適な空間を提供できるよう日々の業務に取り組んで参りたいと思います。

(写真下、スタッフの後藤さん)



## 改善提案委員会より

日頃のご勤務お疲れ様です。

前年度は皆様のご協力のおかげで目標の300件を達成することができました。

本年度もさっそく改善提案をご提出頂き、感謝申し上げます。

頂いた提案の中から、ご紹介させていただきます。

### (問題)

作業を長年やっていると流れ作業になり、手抜きや見落としがちになる。代行をする時の作業が曖昧になりがち。

### (改善策)

年に1.2回、研修期間をもうける。  
その場所を多く担当している人が指導、研修に当たる。

### (効果)

自分1人で作業していると分からなかったり適当になっていたことも、相談し合う事によって解決する。  
指導した方も他の人のやり方を見て、気づきの点が多いと思う。

こちらの現場では、スタッフ一人一人の意識の高さや前向きな気持ちが伝わる提案をたくさん頂いております。

(神戸勤務：谷口千恵さんからのご提案)

本年度の目標は354件となっております。

5月～9月までの5か月で件数が68件。

残りの7か月で286件必要となり、目標達成に厳しい状況です。  
普段のお仕事の中で何かお気づきの点がございましたら、小さなことでもぜひ教えて下さい。

皆様からのご提案をお待ちしております。

## おめでとうございます!

昨年ぴあだより36号にて掲載させてもらった営業部の渡辺さんに待望の第1子が誕生されました。

新しい家族を迎えました渡辺さんよりコメントをいただきました。

この度、7月28日に第一子が誕生しました。

予定日より2週間ほど早く生まれたので心配でしたが、元気にすくすく育ち、今では丸々してきて、より一層可愛くなりました。

元々子供は好きな方ではありませんでしたが、周りの

「我が子は別!」との言葉通りにベタベタと親バカしています。  
子供に「仕事をしているお父さんはカッコいい」と言われるように、今後も仕事に家庭に励んでいきたいと思っております。

(写真左から渡辺さん、社長)



## 品質委員会より

「不適合サービスの水平展開より  
同類不適合の発生を予防する」

### (事案)

日常清掃スタッフの休みにより本社スタッフが代理作業に入っていたが、作業条件が以前と変更になっている事を代理作業スタッフに説明が引継がれていなかったため、以前の条件のまま清掃作業に入ってしまった。  
お客様より変更したルールが守られていないとクレームになった。

### (予防措置)

作業の条件が変更になった場合は、その関係者(管理担当者、清掃スタッフ、応援スタッフ等)誰もがわかるように引継申し送りや掲示物などで周知できるようにする。

管理担当者：仕様書、基準書を書換え、更新版の作成  
スタッフ：変更内容の引継申し送り

上記の予防措置で同類の不適合の発生を予防するようにお願い致します。

## 営業部より

「トライアル」JOB実施」

平成29年4月開校の兵庫県立西神戸高等特別支援学校より、10月4日(水)～10月6日(金)の3日間、トライアルJOBで佐竹愛美さんが明石商業施設にて職業体験。

3日間の体験では日常清掃の基本的な清掃、トイレや共用部の清掃、自動床洗浄機の使い方、ガムとり機での清掃を体験していただきました。(写真はガムとり作業中の佐竹さん)



## 総務部より

「ストレスチェックの実施予定」

本年度も年1回実施のストレスチェックを11月上旬に予定しています。

「ストレスチェック」とは、ストレスに関する質問票(選択回答)に労働者本人が記入し、それを集計・分析することで、自分のストレスがどのような状態にあるのかを調べる簡単な検査です。

詳しい内容については、改めてご案内をお送りします。

---お願い(11月出勤簿の送付について)---

・昨年同様、11月は給与計算時期に11/23(祝日)があり、給与計算事務の日数が少なく、銀行への手続き上、後藤事務所では11/21(火)までに作業を終えなければなりません。

11/16(木)には必ず投函又はFAX・メールをして頂きますよう、ご協力の程よろしく申し上げます。

## 「素晴らしい人生を送るために」

2017年10月25日  
ピアサービス 株式会社  
代表取締役 岸本 吉充

皆さん お元気ですか？

10月に入り、急に朝夕冷え込んでまいりましたので、皆様方、健康管理には特にお気を付け下さい。日頃は各現場で皆様一人ひとりがお客様から「ほんとうにありがとう」と喜ばれる為に「日本一の職場づくり」に励んで頂いていることに心より感謝申し上げます。

今回は、「素晴らしい人生を送るために」と題して、次のふたつのことをお話させていただきます。

### 『人間として正しい心で』

人生・仕事の成功の鍵は「考え方×熱意×能力」という以前にお話させていただきましたが、この方程式では、考え方が一番重要となり、それはマイナス100点からプラス100点までであると言う事でした。

それではプラス100点(限りなく近い)とは、どのような考え方なのでしょうか？

それは「正直であれ」「嘘をつくな」「人を騙すな」「約束を守る」「他人を思いやる」といった人間としての普遍的な道徳観に基づく考え方、すなわち「人間として何が正しいか」という基準で物事を判断することです。

この「人間として正しい」ということは、子供の頃から、親や学校の先生から教わって誰でも知っている事ですが、この当たり前のことを実際に100%実行するのはなかなか難しいことです。

何かを決めようとする時、自分の都合(「利己の心」=エゴ)を優先して考えてしまうのは人間の性です。人間の心は大なり小なり、自分の欲望を満たそうとする利己的な側面をもっており、人はとかく自分の利益となる方に偏った考え方をしてしまいます。しかし、その結果、判断はくもり、間違った方向へと向かってしまいます。

人には、「人間として正しい」心だけではなく、「悪い心」や「利己の心」という心(考え方)が同居しているからでしょう。

この「悪い心」、「利己の心」に克ち、自分の心の中の「善い心」、思いやりと愛に満ちた「利他の心」を増やし、「人間として正しい」という考え方(心)で行動することが、素晴らしい人生=成功した人生(結果)を歩めるということになるのです。

### 『小善(しょうぜん)は大悪(だいく)に似たり、大善(だいぜん)は非常に似たり』

人間関係の基本は愛情をもって接することにあります。しかしそれは溺愛であってはなりません。

我が子がかわいいばかりに溺愛し、甘やかし放題に育てたところ、その子供が成長した時にはかえってダメな大人に育ってしまったという話がよくあります。

子供をかわいがるといふ小善が結局当人にとって大悪をなしたことになるります。

職場においての上司と部下の関係でも同じ事が言えます。

信念もなく部下に迎合し、厳しいことを言わない上司は、一見愛情深く見えますが、結果として部下をダメにしていけます。

逆に信念をもって厳しく接し、部下から煙たがられる上司の方が長い目で見れば、部下を大きく成長させることになりえます。これが大善です。

「かわいい子には旅をさせよ」(苦勞をさせよ)と言われますが、相手にとって為になるのかを厳しく見極めることが真の愛情であり、そしてそれはその人を大きく育てていくことになるのです。

以上、お話したことは誰でも知って理解していることですが、実際に、自分を厳しく律し、日々実行することはなかなか難しいことです。

しかし、自分の人生や仕事の上で成果を出す(素晴らしい人生を送る)ためには、「人間として正しい」心と小善でなく大善である他人を思いやる心で判断し、実行することだと思えます。

ピアサービスにかかわる人々が、実りある人生になる為に皆で励まし合って1歩ずつ日々前進して行きましょう。